

低炭素都市に向けての街区・地区での取り組み検討

平成22年3月2日

- (1) 街区・地区で把握すべき温室効果削減要素
- (2) 街区・地区での削減効果の評価システムの検討案

(独) 国立環境研究所・環境技術評価システム研究室長
東洋大学特任教授・名古屋大学連携大学院教授
藤田 壮 (FUJITA, Tsuyoshi)

地域の環境資源を活用する低炭素化都市形成の技術政策メニュー

- 地域の緑地基盤，水環境基盤，産業基盤を低炭素インフラとして活用するための技術政策
- 都市・街区スケールでの技術・政策の導入効果を算定できる1次元簡易モデル，3次元物理プロセス(NICE-URBAN)モデルによる環境技術の適合性評価の検討例

資源循環技術・政策

技術

- ・廃プラ高炉還元技術，
- ・廃棄物セメント原燃料化技術，
- ・難再生古紙リサイクル

政策

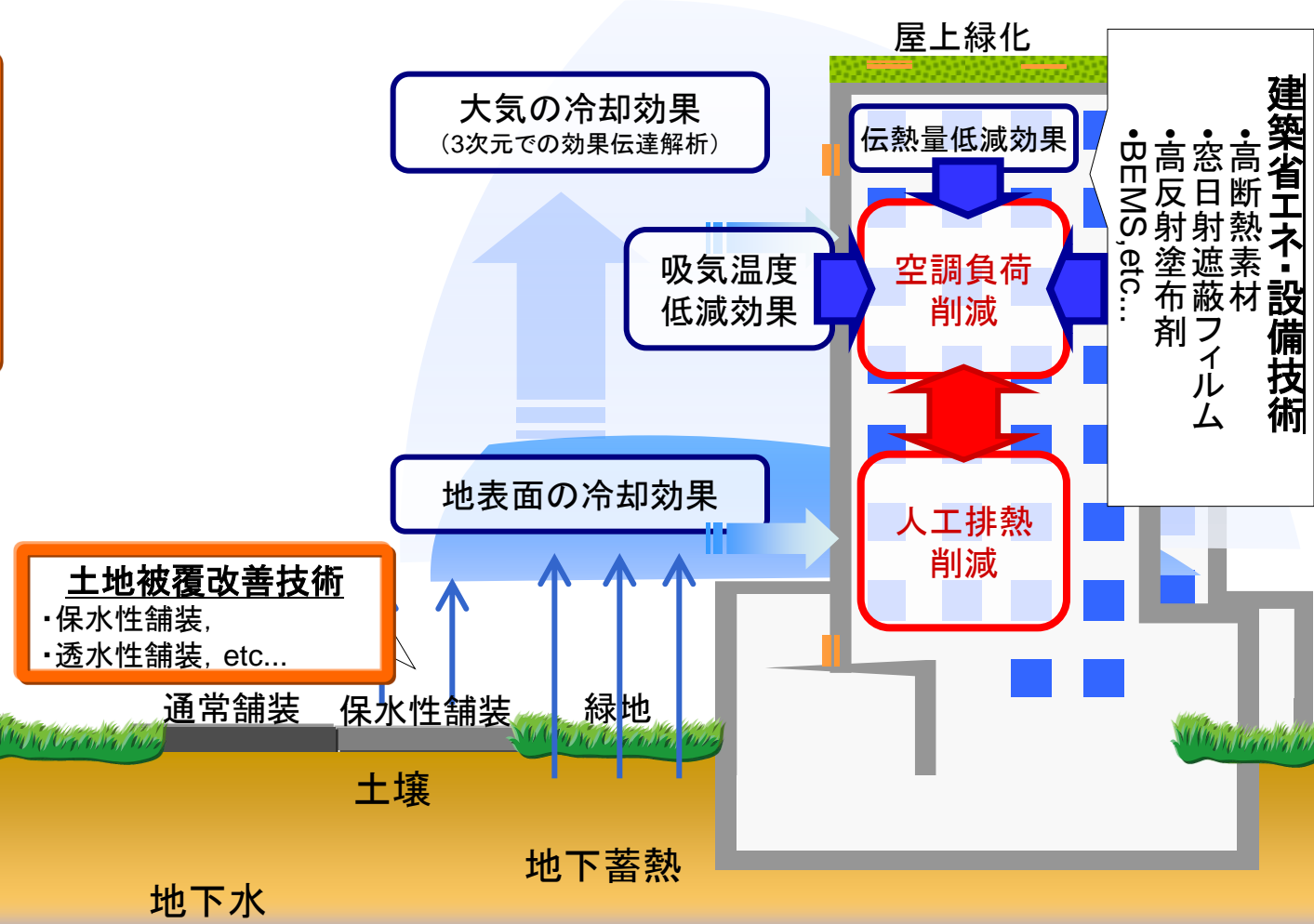
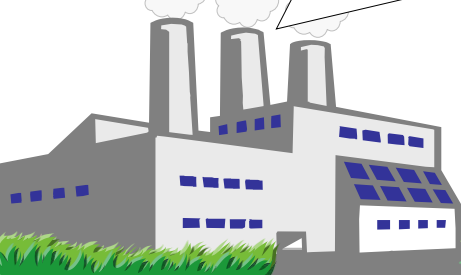
- ・分別収集
- etc...

公害対策技術・政策

- ・下水・汚水処理，
- ・焼却技術， etc...

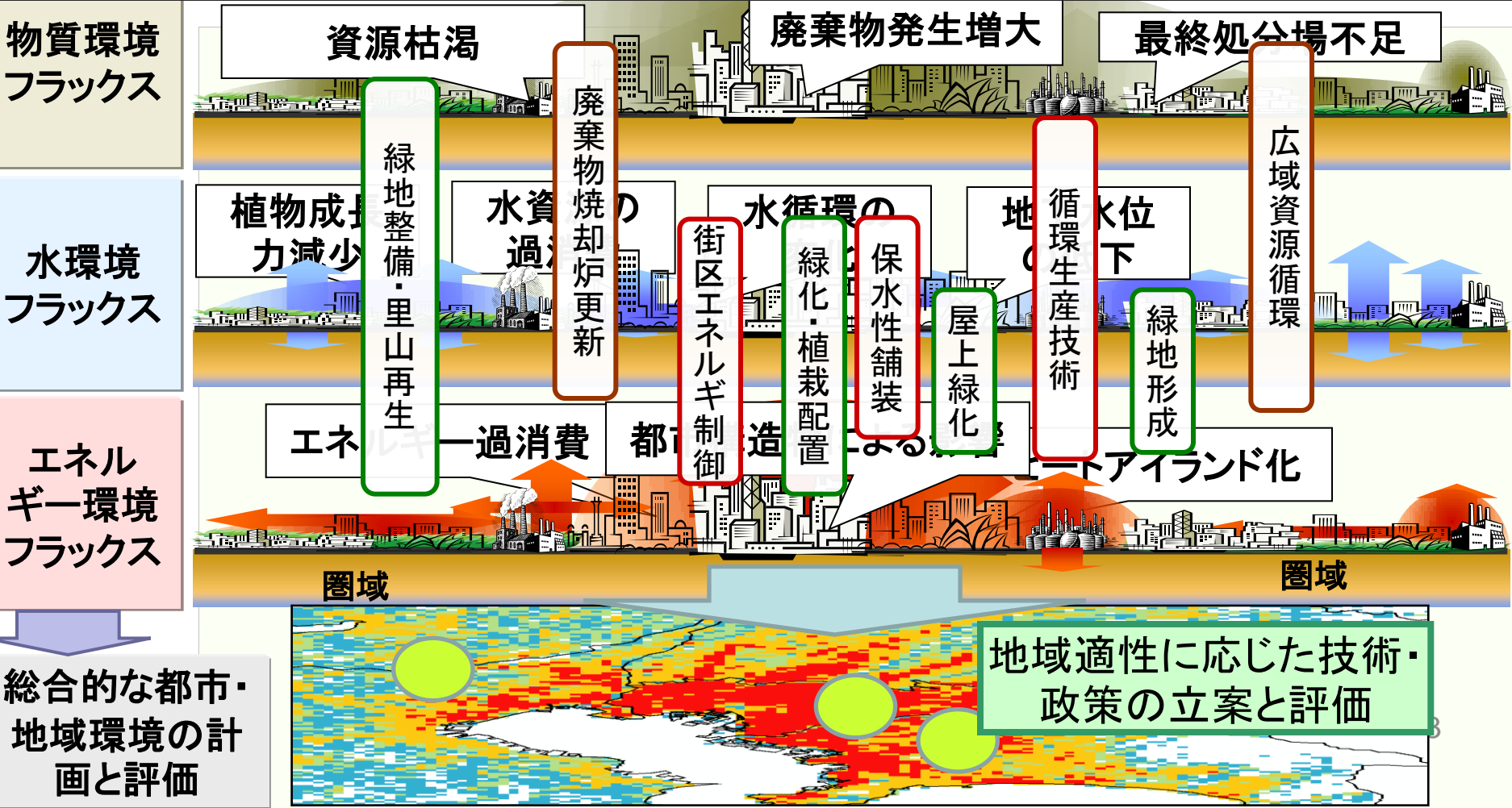
土地被覆改善技術

- ・保水性舗装，
- ・透水性舗装， etc...



研究アプローチ①; 環境汚染の制御, 循環, 低炭素社会の課題に同時に取り組むコベネフィット・アプローチのための計画・評価システム

都市活動の横断的な政策と、代替的な計画要素の資源循環、水循環、大気熱エネルギー環境への影響を総合的に評価することによる地域環境研究のアプローチ



研究アプローチ②; 地域適性, 環境資源の分布に応じた技術・政策立案